

令和6年9月12日  
杉並区 区民生活部地域課

# コミュニティふらっと本天沼の運営に関する地域懇談会 (第6回)

全体のまとめ 説明資料

# 目次

- 1 「コミュニティふらっと本天沼」の施設面の特徴・・・P.2
2. これまでの話し合いより（一部再掲）・・・・・・P.4
3. ご意見の施設運営への反映・・・・・・・・・・P.8
4. 懇談会のご意見を受けて・・・・・・・・・・P.9

# 1. 「コミュニティふらっと本天沼」の施設面の特徴

## ・ラウンジの設置



# 1. 「コミュニティふらっと本天沼」の施設面の特徴

- ・ 多目的室、第5集会室の増築
- ・ 鏡の設置（多目的室、第2集会室、第5集会室）
- ・ 土足禁止の部屋の設定（多目的室、第5集会室）



多目的室



第5集会室

- ・ その他（ベビーキープ設置、トイレの洋式化等）



## 2. これまでの話し合いより

再掲

### テーマ①ラウンジの活用方法（第2回）

平面図を示し、既存コミュニティふらっとの取り組みを紹介。

#### 【主なご意見】

- ・ラウンジでコミュニティふらっとの温かみを伝えられるようにしたい。
- ・人が集まり、つながり合うきっかけが作れるとよい。
- ・本施設は高齢者の利用が多くなると想定される。
- ・子どもの居場所づくりは必要である。  
(学習支援などでは、対応する人材の確保も大切)

## 2. これまでの話し合いより

再掲

### テーマ②地域の特性を踏まえた運用（第3回）

人口データ、地域分布図、小中学生・高齢者の状況を既存調査結果から提示。

#### 【主なご意見】

##### 高齢者について

- ・高齢者の状況調査結果にある「趣味はないが、地域活動に参加したい」という人は、限られた部屋の中での活動となる高齢者団体には所属しないのではないか。
- ・メンバーが減少している高齢者団体もあり、高齢者同士の交流も大事。

##### 子どもについて

- ・自由にできる場所がコミふら内にあるといい。
- ・乳幼児は、子ども・子育てプラザや児童館に行ってしまう。
- ・高学年～中学生は児童館に行かず、家に自分の部屋がないこともあり、ラウンジでの勉強や居場所づくりができるといい。
- ・防災について、体験や地域貢献の機会があるといい。

## 2. これまでの話し合いより

再掲

テーマ③多世代交流の場所として必要な取組（第4回）  
身近な地域のコミュニティ形成の場として既存コミュニティふらっとの取組みを紹介。

### 【主なご意見】

- ・利用者や利用者団体が、自分の得意分野を活かした取組みができるとよい。
- ・イベントを開催し、非常時に声を掛け合えるような顔見知りを作る取組みがあるとよい。
- ・地域団体や近隣施設（特養・学校等）とのネットワーク構築ができるとよい。

## 2. これまでの話し合いより

### テーマ④地域の認知度アップのための取組（第5回）

これまでの話し合いを踏まえて認知度アップの取組の方向性（案）を示し、既存コミュニティふらっとの取組みを紹介。

#### 【主なご意見】

- ・ 地域にいかに愛着を持てるかが大切。
- ・ 地域に特化した施設として運営してはどうか。
- ・ 「楽しい、行くと得をする」と思ってもらえると人は集まる。
- ・ 具体的に施設でできることの具体的な周知が必要。
- ・ 狭い敷地で、どのように地域の人に施設を利用してもらえるか。
- ・ 地域にどう周知していくか。パンフレット配布やSNSの活用など、活動場所を必要とする方、色々な世代の方に施設も知ってもらう取組を考えてほしい。



### 3. ご意見の施設運営への反映

～区と受託事業者との協議・区長報告～



※開設後も、区と事業者とで運営について協議を継続。  
また、地域住民等からの意見聴取も行いながら運営。

## 4. 懇談会のご意見を受けて

受託事業者より

- 地域懇談会のご意見を踏まえたコミュニティふらっと本天沼の運用の方向性